

# 留守番電話を確認する



iOS 18で、電話に回答できないときなどに、本体に発信者からのメッセージを記録する「ライブ留守番電話」機能が利用できるようになりました。ソフトバンク／Y!mobileが提供する留守番電話サービスとの違いも確認しましょう。

## 🔌 ライブ留守番電話を利用する

- ① 「電話」アプリを起動し、[留守番電話]をタップすると、初回はこの画面が表示されます。[続ける]をタップすると、ライブ留守番電話を利用できるようになります。また、「設定」アプリで、[アプリ] → [電話] → [ライブ留守番電話]の順にタップすると、オンとオフを設定できます。



- ② 録音された留守番電話がある場合、通知センターに通知が表示されます。留守番電話を確認するには、「電話」アプリを起動し、[留守番電話]をタップします。聞きたい留守番電話をタップします。



- ③ 留守番電話が再生されます。また、文字起こしされた内容が下部に表示されます。



### MEMO 録音中にメッセージを確認する

相手が留守番電話にメッセージを録音中、音声を文字起こしたテキストが表示されます。

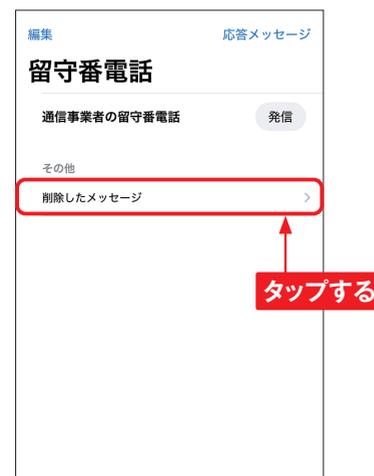


## 🔌 留守番電話を削除する

- ① 録音された留守番電話を削除するには、P.48手順②の画面で、左上の[編集]をタップし、削除したい留守番電話をタップして、[削除]をタップします。



- ② 手順①の操作をしても、すぐに留守番電話は削除されません。P.48手順②の画面を表示して、[削除したメッセージ]をタップします。



- ③ 削除した留守番電話が表示されません。留守番電話をタップすると、再生することができます。右上の[すべてを消去]をタップして、[すべてを消去]をタップすると、完全に削除することができます。



### MEMO

#### ライブ留守番電話とソフトバンク／Y!mobileの留守番電話サービス

ライブ留守番電話は料金がかかりませんが、電波の届かない場所では利用できません。ソフトバンク／Y!mobileでは、電波が届かない場所でも留守番電話が使える「留守番電話プラス」(有料)を提供しています。サービスを契約すれば、留守番電話の標準の応答時間(20秒)を極端に短く設定しない限り、電波が届く場所でライブ留守番電話が利用できる状態ではライブ留守番電話が利用できない場合には留守番電話サービスを利用することができます。

# Apple Accountを作成する

Apple Accountを作成すると、App StoreやiCloudといったAppleが提供するさまざまなサービスが利用できます。ここでは、iCloudメールアドレスを取得して、Apple Accountを作成する手順を紹介します。



## Apple Accountを作成する

1 ホーム画面で[設定]をタップします。



2 「設定」画面が表示されるので、「Apple Account」をタップします。「設定」画面が表示されない場合は、画面左上の<を何度かタップします。



3 [Apple Accountをお持ちでない場合]をタップします。



### MEMO すでにApple Accountを持っている場合

iPhoneを機種変更した場合など、すでにApple Accountを持っている場合は、Apple Accountを作成する必要はありません。手順③の画面で[手動でサインイン]をタップし、「Apple Account」を入力して[続ける]をタップします。「パスワード」を入力して、[続ける]をタップしたら、P.59手順⑮へ進んでください。

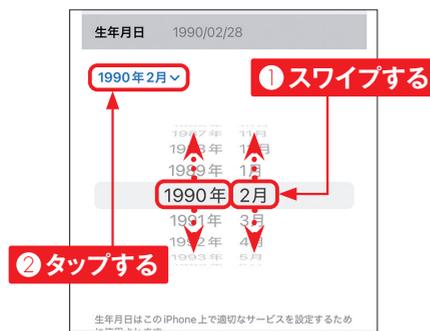
4 「姓」と「名」を入力し、生年月日をタップします。



5 現在の年月をタップします。



6 生年月日の年月を上下にスワイプして設定します。年月の部分をつまみます。



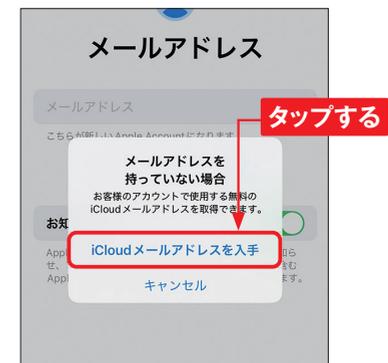
7 生年月日の日をタップし、[続ける]をタップします。



8 [メールアドレスを持っていない場合]をタップします。



9 [iCloudメールアドレスを入手]をタップします。



# メールを設定する



iPhoneでは、テキストでの連絡用に「メール」と「メッセージ」の2つのアプリが用意されています。まずは、両者を利用するための設定を行いましょう。ソフトバンクをご利用の方はP.63～67を、Y!mobileをご利用の方はP.68～71を参照してください。

## 「メール」アプリと「メッセージ」アプリ

iPhoneでは、「メール」と「メッセージ」というアプリを使って、相手とテキストで連絡を取り合えます。「メール」アプリでは、パソコンのメールソフトのように、「iCloudメール」や「Gmail」など複数のメールアカウントを設定して、それぞれ使い分けることができます。会社やプロバイダーのメールアカウント、またソフトバンクが提供するEメール (i)、Y!mobileが提供するY!mobileメール (@yahoo.ne.jp) のメールアカウントも登録可能です。

一方「メッセージ」アプリは、SMSとMMS、iMessageの3つのサービスが利用できます (Sec.19参照)。送受信した内容が吹き出しのように画面の左右に一覧表示され、これまでの経緯をすぐ確認できるのが特徴です。

ソフトバンク／Y!mobileのiPhoneでは、「メール」アプリと「メッセージ」アプリに別々のアドレスを設定して受信内容を管理します。まずはSafariから「My SoftBank」／「My Y!mobile」にログインし、アドレス変更などの設定を完了させましょう。



「メール」アプリは、携帯電話と同じようにEメールを利用できます。



「メッセージ」アプリは、やりとりした内容をすぐに確認できます。

## My SoftBankにログインする

- Wi-Fiに接続している場合は接続を解除します。ホーム画面で🔵をタップし、画面下にある📖をタップしてブックマークを開きます。



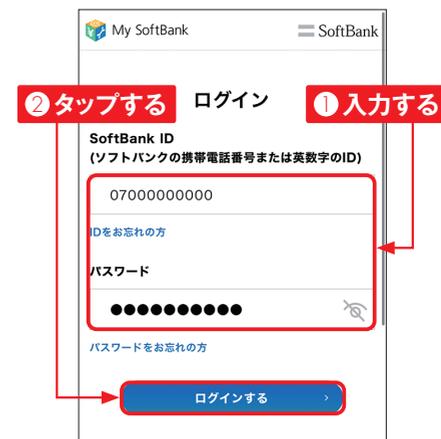
- 「My SoftBank」をタップします。



- 「My SoftBankにログイン」をタップします。



- 携帯電話番号またはSoftBank IDとパスワードを入力し、「ログインする」をタップします。



### MEMO すでにログインされている場合

「My SoftBank」の「自動ログインの設定」が「利用する」になっている場合、手順②のあと、すでにログインした状態で「My SoftBank」画面が開きます。「自動ログインの設定」は、手順④のあとの画面で、☰ ([メニュー]) → [アカウント管理] → 「自動ログイン」の [設定する] をタップすると確認、変更ができます。





# 迷惑メール対策を行う

迷惑メールがたくさん届くときは、「My SoftBank」／「My Y!mobile」から迷惑メールの設定を変更します。ソフトバンクを利用している場合はP.100～101を、Y!mobileを利用している場合はP.102～103を確認してください。

## 迷惑メール対策を設定する（ソフトバンク）

① P.63を参考にして「My SoftBank」にログインし、「メール設定」をタップします。



② 「迷惑メール対策」の「変更」をタップします。



③ 迷惑メールフィルターの強度を変更できます。ここでは「強」をタップし、上方向にスワイプします。



④ 「次へ」をタップします。



⑤ 迷惑メールフィルターの強度変更の確認画面が表示されます。問題がなければ、「変更する」をタップすると、迷惑メールフィルターの強度が変更されます。



**MEMO 2種類のフィルター設定**

初期設定の「標準」はデータベースをもとにスパムメールを拒否し、「強」はスパム目的のアドレス変更やなりすましメールも拒否します。

## 特定のメールアドレスを拒否する（ソフトバンク）

① P.100手順②の画面を表示し、「迷惑メール対策」をタップします。



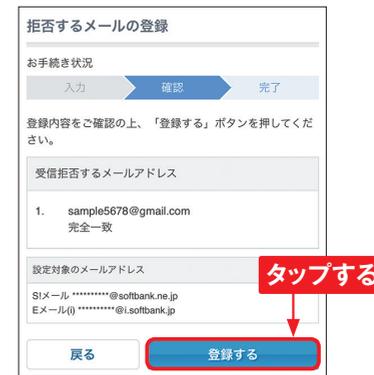
② 「迷惑メール対策の設定」画面が表示されたら、画面を上方向にスワイプして「拒否するメールの登録」の「登録する」をタップします。



③ 「受信拒否するメールアドレス」の入力欄をタップして受信拒否するメールアドレスを入力し、入力したアドレスとの一致の種類をタップして、「次へ」をタップします。



④ 受信拒否するメールアドレスが問題ないか確認し、「登録する」をタップすると、受信拒否するメールの登録が完了します。



**MEMO 特定のメールアドレスを必ず受信するよう設定**

手順②の画面で、「許可するメールの登録」の「登録する」をタップし、「受信許可するメールアドレス」の入力欄に受信許可するメールアドレスを入力します。入力したアドレスとの一致の種類をタップし、「次へ」→「登録する」の順にタップすると、特定のメールアドレスからの受信が必ずできるように設定されます。



# 写真や動画を閲覧する



解像度と色の表現力が高いディスプレイを搭載するiPhoneは、写真や動画の閲覧に最適です。撮影した写真や動画をiPhoneで楽しみましょう。

## 6 写真を閲覧する

- ① ホーム画面で[写真]をタップします。初回起動時は、画面の指示に従って操作します。



- ② 画面を下方方向にスワイプすると「ライブラリ」が表示され、撮影した順番にすべての写真と動画が表示されます。



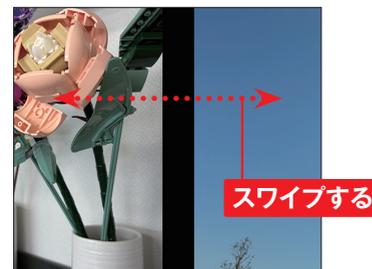
- ③ 上下にスワイプすると、保存された写真や動画を確認できます。任意の写真をタップします。



- ④ タップした写真が大きく表示されます。画面をピンチすることで、写真を拡大・縮小できます。



- ⑤ 画面を左右にスワイプすると、前後の写真が表示されます。下方方向にスワイプすると、P.140手順③の画面に戻ります。



- ⑥ 画面を上方向にスワイプすると、写真の情報が表示されます。

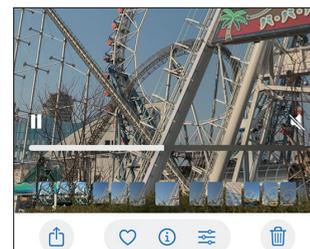


## 6 動画を閲覧する

- ① P.140手順①～②を参考に写真や動画の一覧を表示します。上下にスワイプして閲覧したい動画を探し、タップします。動画には、サムネイルの右下に数字が表示されています。



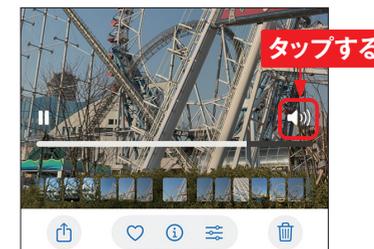
- ② 動画が表示され、自動再生されます。画面をタップすると全画面表示になり、全画面表示をタップするともとの画面に戻ります。



- ③ 動画を一時停止する場合は、手順②の画面で⏸をタップします。再生するには、▶をタップします。



- ④ 動画は消音で再生されます。音を出したい場合は、手順②の画面で🔊をタップします。消音に戻すには、🔇をタップします。



# リマインダーを利用する

iPhoneの「リマインダー」アプリは、リスト形式でタスクを整理するアプリです。登録したタスクを、指定した時間や場所を条件にして通知できます。ここでは、iCloudの同期をオンにした状態で解説します（P.210参照）。

## タスクを登録する

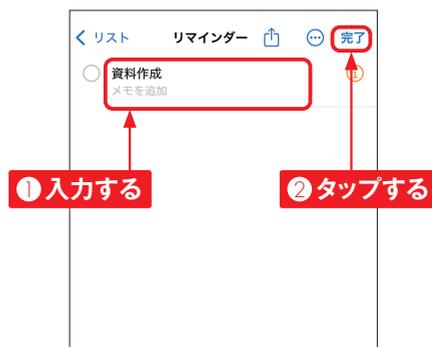
- ① ホーム画面で「リマインダー」をタップします。初回起動時は、画面の指示に従って操作します。



- ② 「マイリスト」の「リマインダー」をタップし、「新規」をタップします。



- ③ 画面をタップしてタスクを入力し、「完了」をタップします。



- ④ タスクが登録されます。



## 日付を指定してタスクを登録する

- ① P.166手順③の画面でをタップします。



- ② タスクの期限日を設定します。ここでは「明日」をタップします。「リマインダーを見逃さないようにしましょう」画面が表示されたら、「続ける」→「許可」の順にタップします。



- ③ 画面をタップしてタスクを入力し、「完了」をタップすると、タスクが登録されます。



### MEMO タスクの期限を通知する

手順③の画面でをタップすると、「詳細」画面が表示されます。詳細画面の「日付」をにすると指定日に、「時刻」をにすると指定時刻にアラームを鳴らして通知してくれます。



# パスワードを利用する



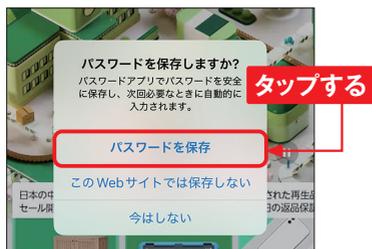
iOS 18から「パスワード」アプリが標準アプリに加わり、アカウントやほかのアプリで利用しているパスワードなどを1つのアプリで管理できるようになりました。

## Webサイトで利用する

- ① 「パスワード」アプリは、さまざまな場面で利用することができますが、ここでは、Webサイトで利用する場合を紹介します。SafariでWebサイトのログイン画面を表示し、アカウント名とパスワードを入力して、[ログイン]をタップします。



- ② 初めてログインするWebサイトでは、このような画面が表示されるので、パスワードを保存する場合は、[パスワードを保存]をタップします。



- ③ 次回以降同じWebサイトのログインページを表示すると、このような画面が表示されるので、[パスワードを入力]をタップします。



- ④ アカウント名とパスワードが、自動で入力されます。Webサイトによっては、自動でログインします。



## パスワードを管理する

- ① ホーム画面で[ユーティリティ]→[パスワード]の順にタップします。パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。



- ② P.174のWebサイトのパスワードを変更します。[すべて]をタップします。



- ③ パスワードを変更したいWebサイトをタップします。



- ④ [編集]をタップします。



- ⑤ Webサイトのパスワードを変更した場合などは、[削除]→[パスワードを削除]の順にタップすると、このWebサイトの記録自体が削除され、P.174の操作で、変更したパスワードなどを新しく保存することができます。



## ボイスメモを利用する



Application

「ボイスメモ」アプリでは、iPhoneに音声を収録できます。メモやアイデアなどをかたんに記録しておきたいときに便利です。録音した音声は、あとから編集することもできます。

## 音声を録音する

- ① ホーム画面で[ユーティリティ]→[ボイスメモ]の順にタップします。初回起動時は、画面の指示に従って操作します。



- ② ●をタップします。



- ③ 録音が始まります。●をタップすると、録音が終了します。



- ④ 「すべての録音」に収録した音声が表示されます。



## 録音した音声を編集する

- ① P.176手順④の画面で、🔊をタップします。



- ② ⚙️をタップすると、再生速度の変更や補正ができます。



- ③ 手順②の画面で⏸️をタップし、[トリミング]をタップします。



- ④ ●をドラッグして[トリミング]をタップすると、音声のトリミングが行えます。



- ⑤ [適用]をタップすると、変更を保存できます。



# Apple Payで タッチ決済を利用する



Apple Payは、Appleの提供する電子決済サービスです。Suicaやクレジットカードを登録しておくと、交通機関を利用するときや、店舗で買い物をするときにスムーズに支払いができます。

## 🔌 「ウォレット」アプリにクレジットカードを登録する

- 1 ホーム画面で「ウォレット」をタップします。



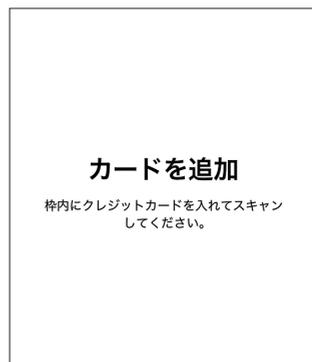
- 2 「追加」をタップします。初回起動時は、画面の案内に従って操作します。



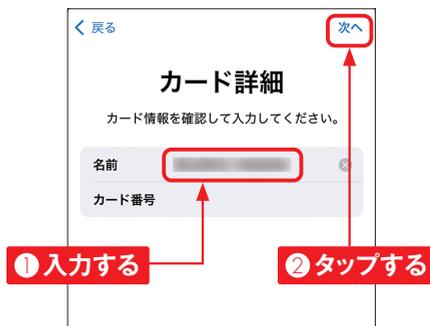
- 3 「クレジットカードなど」をタップします。



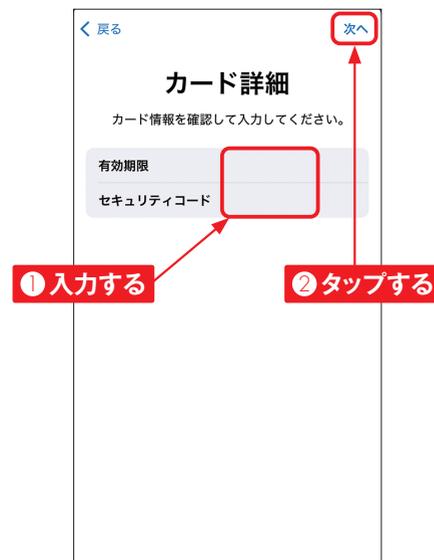
- 4 「続ける」をタップし、iPhoneのファインダーに登録したいカードを写します。



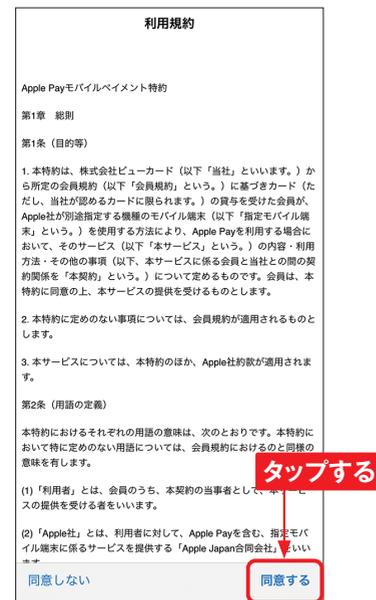
- 5 「カード詳細」画面で「名前」の欄をタップしてカードの名義を入力し、「次へ」をタップします。



- 6 有効期限とセキュリティコードを入力して、「次へ」をタップします。



- 7 「利用規約」画面が表示されたら、内容を確認し、「同意する」をタップします。



- 8 「完了」をタップします。



- 9 「カード認証」画面が表示されたら、画面の指示に従って認証を行います。



# ショートカットでよく使う機能を自動化する



ショートカットは、指定した複数の機能や操作を自動で行ってくれる機能です。「ショートカット」アプリでサンプルのショートカットを使用できるほか、オリジナルのショートカットを作成することも可能です。

## ショートカットとは

ショートカットを使用すると、決まった時間や場所で特定のアプリや操作を自動で実行したり、複数のアプリや操作を一度にまとめて行ったりすることができます。まずは、「ショートカット」アプリに用意されているサンプルのショートカットを使って試してみましょう。よく使うショートカットはウィジェットに登録することもできます。また、iPhoneを使い込むことで、よく使うアプリや操作をもとにしたショートカットが提案されます。



「ギャラリー」タブには、あらかじめサンプルのショートカットが多数用意されています。



作成したショートカットは、「ショートカット」タブの「すべてのショートカット」画面から実行できます。

## ショートカットを設定する

- 1 ホーム画面で [ユーティリティ] → [ショートカット] の順にタップしてアプリを起動し、[続ける] をタップします。



- 2 [ギャラリー] をタップします。



- 3 画面を上方向にスワイプして、設定したいショートカット（ここでは [テキストをオーディオに変換]）をタップします。



- 4 [ショートカットを追加] をタップします。



- 5 [ショートカット] をタップすると、「すべてのショートカット」画面にショートカットが追加されます。タップすることで、ショートカットが利用できます。



### MEMO オリジナルのショートカットを作成する

オリジナルのショートカットを作成するには、「すべてのショートカット」画面右上の+をタップし、目的のアプリをタップします。各アプリ内によく使う操作が表示されているので、タップして [完了] をタップすると、「すべてのショートカット」画面にショートカットが作成されます。